

インド、グジャラート州カッチ、Ajrakh工房での天然ラックを使った染め

Dr Ismail and Sufiyan Khatri, Ajrakh 工房

使用材料

地元産の天然ラック、ミロバランの粉、タマリンド、明礬、自家製鉄媒染液

鉄媒染液の作り方

錆びた鉄と砂糖を水に入れて発酵させ、タマリンドの種を加える。

当日染めた布

- ・タサー絹のストール(鉄媒染)
- ・家蚕絹のストール(アルミ媒染)
- ・グジャラート産ガジ絹の布(鉄)
- ・サーマ絹の布(アルミ)
- ・家蚕絹の端切れ(アルミ)
- ・メリノ種ルディアの羊毛の布2枚(アルミ・鉄それぞれ一枚)

染めの手順



1. 布は3-4日以上前にミロバランの粉を溶かした水に一晩浸し、洗って乾かしておく。



2. 酸度調整に使う生タマリンド1kgは前日に水に浸しておく。当日使う場合はお湯に浸し、水を加える。



3. 水に500gの明礬を溶かし、半量ずつに分け、一方にのみ鉄媒染液を適量混ぜておく。



4. 染める布を明礬水に30分程度浸したのち、広げて乾かす。鉄媒染するものも同様にする。



5. 鉄媒染の場合、薄黄色い布がブルーグレー調の色に変化する。



6. お湯を入れたバケツに天然ラック1キロを入れて柔らかくする。



7. 柔らかくなったラックを石などで細かく砕く。



8. 15リットルの湯に砕いたラックを加える。



9. そこにタマリンドを水ごと加えて良く混ぜると、鮮やかな赤色になる。



10. 70リットルの湯を沸かしたアルミの大鍋に入れ30分ほど加熱する。



11. 色を確認してから、まずは明礬媒染した布を入れる。



12. ムラが出ないように布を広げ、かき混ぜながら煮続ける。



13. 布を広げ色を確認し、良く染まっていたら取り出す。



14. 明礬のみの媒染の布を取り出した後に鉄媒染の布を入れ煮る。



15. きれいな流水で洗う。布についた樹脂分はお湯で洗い流す。



16. 地面に広げて乾かす。必要に応じてこの後に木版摺り作業を行う。

ラックの色を良く出すために石灰水を加えることもあるが、木版摺りをする場合は明礬に影響を与えるため使えない。今回は1年前の古いラックを使ったので濾さないが、新しいラックを使うと熱で溶けて布にくっついてしまう。